

## 省エネ支援事業の一環で ECAP11（受入研修）を実施しました

### 【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンターは、経済産業省の委託（国際エネルギー使用合理化等対策事業・省エネルギー人材育成事業）を受けて、ASEAN9 カ国から 8 名のエネルギー管理士指導者候補と政策担当者 5 名を日本に受入れ、2017 年 2 月 6 日～2 月 10 日の 5 日間の研修を通して、以下の取組みを実施しました。

- (1) 省エネ管理手法・判断規準、熱・電気技術の講義、試験問題の演習・試験の実施。
- (2) グループ A4 カ国の診断結果報告および討議。
- (3) 清水建設(株)本社ビルを訪問し、最新ビル省エネ技術の見学。
- (4) 本年の活動を総合して、4 カ国 8 名全員に認定資格を付与。



ECAP11 集合写真 (2/6)



最新ビル省エネ技術観察 (2/8)

新スキーム 2 の一環として、ASEAN10 カ国におけるエネルギー管理士の育成強化ならびに管理士認定制度の構築・改善に資する人材育成事業の推進を目的として、ASEAN9 カ国からエネルギー管理士の指導者候補 4 カ国 8 名と政策担当者を招聘し、以下の研修を実施しました。

- (1) 専門家から省エネ政策・省エネ法制度整備の進め方・省エネ手法について講義を実施しました。
- (2) エネルギー管理士認定制度が既に導入されている ASEAN4 カ国（グループ A：インドネシア、マレーシア、タイ、ベトナム）のエネルギー管理士指導者候補について、自国での省エネ診断結果を報告してもらい、参加者で討議しました。  
エネルギー管理士認定制度が未導入の ASEAN 4 カ国（グループ B&C：カンボジア、ラオス、ミャンマー、フィリピン）のエネルギー管理士の現状と課題について、ECAP10 に引き続き討議し、情報を共有しました。
- (3) 清水建設(株)本社ビルを訪問し、空調・照明・耐震に対する最新技術を習得しました。
- (4) ビルの省エネ技術・熱技術・電気技術についての講義および熱・電気技術についての演習を実施し、認定試験を実施しました。本年度の全ての活動（①タイ TOT での試験結果、②自国での省エネ診断結果のレポート、③診断結果のプレゼン、④ECAP11 での試験結果、⑤トレーニング訓練結果）を総合評価して、4 カ国 8 名の参加者全員に指導者の認定資格を付与しました。また、内 5 名に優秀資格を付与し、ASEAN 全体会議の場で表彰する予定です。